

終了報告書

ミュージックチャイナ
楽器と音楽の国際見本市

上海新国際博覧中心(中国)
2018年10月10日(水) - 13日(土)

香港

2018年10月

メッセフランクフルト ジャパン(株)
海外見本市チーム
Tel. 03-3262-8444
Fax. 03-3262-8442
E-mail info@overseas-fairs.com
東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F
www.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja/
www.messefrankfurt.com
music-china.hk.messefrankfurt.com/

2018年のミュージックチャイナは、ビジネスと教育、文化と遊びが一体に

2018年10月10日(水)から13日(土)まで、上海新国際博覧中心で開催されたミュージックチャイナが記録を塗り替える数の来場者を迎えて閉幕しました。4日間の開催期間中、前年比5.4%増となる2,252社が出展し、同じく5.0%増となる81カ国・地域から110,381名が来場しました。12のホールを使用した出展面積は138,000㎡におよび、楽器業界のすべての分野を網羅する製品やサービスの展示に加え、充実の楽器演奏やライブパフォーマンスに、出展者、来場者共に満足の声が聞かれました。

メッセフランクフルト上海の副事業部長 Judy Cheung は「今年の開催に、大変満足しています。会期中、ライブパフォーマンスのステージはこれまでにないほど盛況で、来場した皆様には、このような環境の中で商談を行えるということを高く評価いただきました。また音楽教育と文化にさらに焦点をあてていることも、肯定的に受け取られているようです。さらに併催イベントによって来場者が会場で、より効率的に学び、共有し、ネットワークを作る機会を提供できたと思っております」と話しました。

好天に恵まれた本開催では、屋外に設置された4つのステージで多彩なライブパフォーマンスが行われました。世界的に有名な Guy Pratt 氏によるパフォーマンス中、来場者の一人は興奮した様子でビジネスとエンターテインメントの融合に言及し、「世界のどこにもない見本市」と話しました。展示ホール内では、各楽器業界のリーダーが商談や情報交換を行っていました。クラシカル／スパニッシュギターを集めたホール W2 に出展した Taylor Guitar の輸出マネージャー Andy Lund 氏は次のように述べました。「中国の楽器市場は非常にダイナミックで、急速に成長しつつあります。過去5年間で、中国での売上は毎年20%の伸びを示し、アジアでも突出した最大のマーケットとなっています」。Andy Lund 氏はさらに次のように述べました。「私たちはミュージックチャイナを、エンドユーザーとディーラー両方に当ブランドをプロモーションできる、最も重要なプラットフォームの1つと考えています。タイ、マレーシア、シンガポールなどの東南アジア諸国の顧客と会う機会でもあり、業界のプロから効果的に学ぶ機会でもあります。見本市のスケールや来場者数にはとても満足していますし、来場者の興奮している様子も印象的です」。

初めて本見本市に出展したオーストリアのフェアトレード楽器メーカー Kambala Percussion を始め、出展者の多くが見本市の初日から活発な受注を受けています。



INTEX



messe frankfurt

同社の輸出マネージャーである Marcel Deforin 氏は、「私たちはすでに、当社の製品に関心のある 40 を超える中国、日本、香港、シンガポールの会社と出会うことができました」と語りました。「会場に到着してすぐに当社に注文を出した企業もありました。ミュージックチャイナは、すべての音楽愛好家が集まるパラダイスであり、当社は 2019 年以降も出展を続けるつもりです」。

対症的に、ピアノメーカー大手の Steinway は最も古くから出展を続けている企業の 1 つです。子会社である Steinway アジアパシフィックの Guifeng Hang 氏は、次のように説明しています。「ミュージックチャイナに出展するのは、これで 17 回目です。今年には当社にとって特別な年で、Steinway の 165 周年にあたります。2 つのスペシャルエディションのピアノを今回初めて展示しています。中国ではすでに素晴らしいディーラーネットワークを構築していますので、現在は研究機関、音楽教育者、またハイエンドのエンドユーザーに関心を持っていただきたいと考えています」。

見本市に来場したバイヤーも、出展者と同様に高い満足度を示しています。ミュージックチャイナに長い間来場している Kuffner International の社長 Hap Kuffner 氏は、「ミュージックチャイナに来場するのは、あらゆる可能性がここにあることを知っているからですが、それでも、さらに新たな製品や、アジアの他では出会うことがない人々と会うことができます」と述べました。「この見本市の成長のスピードは驚異的です。それぞれの音楽分野で、自らの存在感を楽しみながら高めてくれる可能性を持つ人々との出会いがあります」と同氏は強調しました。

広東省の惠州にある Golden Note Musical Instrument Store のゼネラルマネージャー XiaoFeng Liu 氏は、バイヤーとしての視点で、次のように述べています。「私の楽器小売店がある広東は、上海や北京などの都市と比較して、音楽教育に対する意識が低く、ビジネスを維持し続けるのは難しいかもしれません。しかし、この見本市で、あらゆる音楽教育関連会社が展示をしているホール W1 を訪れ、これまで以上に音楽教育の要素を取り入れ、ビジネスを改善していくための新たなアイデアを得ることができました」。

見本市と同様に高い評価を得ているミュージックチャイナの併催プログラムの一つが Kids' Music Castle です。ここでは 100 名を超える子供たちが、さまざまな楽器をベースにした活動に参加し、音楽に対する評価を幼稚園レベルから高めています。イベントに参加していた、上海の地元幼稚園の教師である Elle Lu 氏は、次のように述べています。「昨年よりも一般参加型のイベントが多いと感じます。特に Kids' Music Castle は、子供が体験できる多くの異なる要素が用意されています。中国では、子供が若い年齢で音楽教育を受けることに、親が高い関心を持っています。そのため、こうしたイベントへの参加は子供が自身の創造性を発見し、音楽を作り始める良いチャンスとなります。楽しむことと教育の観点から、子供たちが多くを得られるのは明らかです」。

常に人気のある Drum Circles や子供たちによる音楽パフォーマンスも、来場者すべてを笑顔にするイベントです。ビジネスや業界の観点からだけでなく、楽しみや連帯感、そして教育の観点からも、音楽がいかに価値のあるものであるかについての理解を深めます。

セミナー形式の併催イベントも、同様に人気があります。見本市の初日に開催され満

席となった NAMM Industry Forum の討論会では、オーストラリアの International Society of Music Education の Susan O'Neill 氏が、進化するマーケットに直面する中で、どのように音楽教育を適応させていくかについて講演しました。

O'Neill 氏は次のように述べています。「中国は、楽器を学ぶことをどのように教育システムに取り入れられるかについてのすばらしい事例です。マーケットの繁栄にとっても非常に重要であり、子供は幼い時に楽器に触れることが必要です。中国には、このようなプラットフォームがすでに存在しているため、この見本市のようなイベントは、業界および知識の共有という点で、非常に有益であることを意味しています」。

次のミュージックチャイナは 2019 年 10 月 10 日(木) – 13 日(日)に行われます。見本市の詳細は公式ウェブサイト www.musikmesse-china.com にてご確認ください。

会場風景やプレスリリースは以下 URL よりダウンロードいただけます:

https://www.hk.messefrankfurt.com/hongkong/en/press/fair-press/entertainment-media-and-creative-industries/music_china.html

Other shows under the Musikmesse brand include:

NAMM Musikmesse Russia

12 – 15 September 2019, Moscow

Musikmesse

2 – 5 April 2019, Frankfurt

お問合せ先

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

海外見本市チーム

102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F

Tel. 03-3262-8444 Fax 03-3262-8442

E-mail. info@overseas-fairs.com

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有し、年間売上高約 6 億 6,900 万ユーロを誇る、世界でも有数の見本市主催会社です。世界中に 30 の拠点をもち、全体で 2,400 人を超える従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、各地で産業を牽引する見本市を開催しています。見本市運営だけでなく、デジタル事業にも注力しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の 60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。詳細情報は下記の各会場公式ウェブサイトをご覧ください。

【メッセフランクフルト見本市情報】 www.messefrankfurt.com

【カンファレンス会場「コンgresセンター」情報】 www.congressfrankfurt.de

【100 年の歴史を誇るイベント会場「フェスタホール (Festhalle)」情報】 www.festhalle.de